



後免野田小 大篠保育所 が完成

後免野田小学校の一部増改築と大篠保育所の移転新築が完了しました。
後免野田小学校の一部増改築は、校舎の老朽化と教室不足を解消す

るためのもので、今年の開校百周年は新校舎でと地元でも待ち望んでいたものです。
新校舎は、鉄筋コンクリート三階建て、延べ床面積千九百五十二平方メートル、普通教室五、保健室、図工室、家庭科室、図書室、視聴覚室、音楽室、理科室、特別活動室などで、本体工事費は二億六千九百万円です。
簡易保険郵便年金積立金還元融資を受け、昨年八月に工事を開始、三月二十日に完成しました。
大篠保育所の移転新築は、施設が狭く、老朽化したことによるものです。
新園舎は、鉄筋コンクリート一部二階建て、延べ床面積千九百七平方メートル、保育室八、ホール、調理室などで、本体工事費は一億五千六百万円です。
大蔵省資金運用部資金年金積立金の融資を受け、昨年十月に工事を開始、三月十日に完成しました。
保育所では、新築を記念して「二十一世紀会」を設立、子供たちの作文などをタイムカプセルに収めました。



▲大篠保育所

春野赤岡線部分開通

前浜—浜改田間

県道春野赤岡線浜改田工区の工事が完了し、三月二十七日、地権者や県、市の関係者約百人が出席して開通記念式典が行われました。式典では、神事の後、小笠原市長らが祝辞を述べ、テープカット。続いて、県警の音楽隊を先頭に、前浜の浜田儀三さん一家の親子三代夫婦、出席者が交通安全を願う線です。

てパレードしました。最後に大湊小と三和小の児童約七十人が走り初めをして開通を祝いました。
この県道春野赤岡線は、高知市への生活道であるだけでなく、室戸岬から足摺岬を結ぶ黒潮ラインとして観光、地場産業、国民休暇県構想に大きく寄与する重要な路線です。

今回開通したのは、県道浜改田後免線と前浜植野線を結ぶ一・六キロの区間です。五十三年度に測量を開始し、五十六年度から工事に着手、総工費十二億六千二百万円、幅十二メートルの道路です。
既に赤岡町、吉川村部分は完成しており、今回の開通で約六キロが通行できるようになりました。また、浜改田と高知市仁井田の間でも工事が進んでおり、六十二年度末には市内の区間で工事が完成、空港へのバイパス道路として役立つことになっています。



小学生七十人が走り初めをして開通を祝った